



近世・近代の 大阪と女性

女絵師女うたびとなど多く
浪華は春も早く来るらし

大阪では、女性が様々な分野で活躍し、光彩を放ってきました。広岡浅子がモデルのNHK「連続テレビ小説」の記憶も新しいと思います。今回の適塾講座は、緒方洪庵夫人の八重の書簡が発見されたことになみ、活力にあふれた大阪の女性たちをテーマにとりあげます。大阪らしい女性であった八重の実像に触れるほか、吉井勇が「女絵師女うたびとなど多く浪華は春も早く来るらし」と詠んだ大阪の女性画家や、映画やドラマ化もされた『夫婦善哉』など、織田作之助の小説に描かれた女性像などを通じて、現代では忘れられた、庶民的でありながらも都会的で高度に洗練され、格調高い大阪文化の深淵へと誘います。

コーディネーター 橋爪節也 (大阪大学総合学術博物館教授)



跡見花蹊「四季花卉図」(花蹊記念資料館蔵)



緒方八重書状

第1講座 緒方洪庵夫人・八重の実像 —新出の自筆書状から—
松永 和浩 (大阪大学適塾記念センター准教授)
9月27日(水) 18時30分~20時

「緒方八重肖像画」五姓田義松画

第2講座 跡見花蹊 ~女性教育に尽力した大阪ゆかりの女性画家
小川 知子 (大阪新美術館建設準備室研究副主幹)
10月25日(水) 18時30分~20時



跡見花蹊(花蹊記念資料館蔵)



大阪を歩く 織田作之助(大阪文学振興会提供)

第3講座 織田作之助文学に描かれた女性 —初期作品を中心に—
増田 周子 (関西大学文学部教授)
11月29日(水) 18時30分~20時

〈会場〉大阪大学中之島センター

◎お申込み・お問合せ先／適塾記念会事務局 <http://www.tekijuku.osaka-u.ac.jp>
住所: 〒560-0043 豊中市待兼山町1-13 大阪大学会館内 大阪大学適塾記念センター
電話: 06-6850-5016 FAX: 06-6850-5015 E-mail: kinenkai@tekijuku.osaka-u.ac.jp

適塾記念会

入会のご案内

適塾記念会は、1952年に創立され、その主な目的は、緒方洪庵や適塾門下生の業績を研究・顕彰すること、そして大阪における学問・研究の伝統を明らかにし、その上に立つ新しい学術・文化の成果を広くお伝えすることにあります。

このような目的のもとに本記念会では、会誌「適塾」、図録「緒方洪庵と適塾」の刊行や適塾門下生調査事業などを行ってまいりました。また、「特別展示」、「適塾講座」及び「適塾記念講演会」を開催し、適塾に関する調査研究の成果を広く一般の方々に公開するとともに、会員の方々に対象とした行事を企画しております。2011年度からは新たに適塾並びに緒方洪庵やゆかりの史跡などを巡る「適塾見学会」も実施しております。

ぜひお知り合いの方々をお誘いのうえ、ご入会いただけますようお願い申し上げます。

◎入会されると

会員には「会員証」と会誌「適塾」(年刊)をお送りします。「会員証」は入会された当該年度(3月末まで)有効で、これをお示しいただければ適塾の参観、「特別展示」の参観が何度でもできます。※大阪大学の学生は、適塾の参観、「特別展示」の参観が無料です(要学生証提示)。また、「適塾記念講演会」「特別展示」「適塾講座」等本会主催行事についてご案内させていただきます。ほか、国立国際美術館(大阪市北区中之島4-2-55)を団体料金で観覧できます(一部の特別展等については例外あり)。

◎入会されるには

普通会員の会費は、年間1口2,000円で、何口でもお申し込みができます。入会のお申込みは、適塾(TEL:06-6231-1970)または適塾記念会事務局(TEL:06-6850-5016)において受付しております。

第1講座

9月27日(水)

18:30~20:00

「緒方洪庵夫人・八重の実像 —新出の自筆書状から—」

適塾を開いた蘭学者・緒方洪庵を献身的に支えた妻の八重は、塾生たちからも実母のように慕われました。その人物像を語るに、「良妻賢母」の一言に尽きるといえます。ところが最近、大阪大学適塾記念センターが発見した八重自筆の書状から、これまでのイメージとは違った八重の側面が浮かび上がってきました。そこで今回は、八重の生涯を振り返るとともに、新発見の自筆書状から八重の素顔に迫ります。

松永 和浩 (大阪大学適塾記念センター准教授)

1978年熊本県生まれ。大阪大学博士後期課程単位修得退学。博士(文学)。大阪大学総合学術博物館助教、同特任講師を経て2015年より現職。専門は日本中世史、歴史、大阪学。著書に「室町期公武関係と南北朝内乱」(吉川弘文館、2013)がある。

第2講座

10月25日(水)

18:30~20:00

「跡見花蹊 ~女性教育に尽力した大阪ゆかりの女性画家」

1875年に東京で跡見女学校(現在の跡見学園)を創設した跡見花蹊は女子教育の著名な先駆者ですが、大阪出身であること、優れた画家や書家として活躍したことなどは地元で十分に知られていません。幼い頃から聡明だった花蹊は寺子屋を営む父に見込まれて漢学や書画を学び、若い頃は中之島の跡見塾でも教えました。今回は、京都をへて東京で志を開花させる花蹊の生涯、そして女性日本画家としての姿をご紹介します。

小川 知子 (大阪新美術館建設準備室研究副主幹)

1964年東京都生まれ。京都大学文学研究科博士後期課程中途退学。パリ第1大学博士論文準備課程(D.E.A.)修了。1996年より大阪市立近代美術館(現・大阪新美術館)建設準備室学芸員。専門は西洋近代美術、大阪の近代美術、女性アーティスト研究。共編著に「島成園と浪華の女性画家」(東方出版、2006)など。

第3講座

11月29日(水)

18:30~20:00

「織田作之助文学に描かれた女性 —初期作品を中心に—」

織田作之助は、太宰治、坂口安吾らとともに無頼派の文学者仲間の一としてオダサクと愛称され、これまで多くの方に親しまれてきました。織田の文学は、戦時体制下で、当時常識とされていることのできる限りの抵抗をしたデカダン文学であり、かつ大阪らしい庶民的な愛情にあふれています。作品に描かれる女性も、当時としては新しい女性であり、魅力に富んでいます。本講座では、織田の描いた女性をとりあげ、様々な角度から考えていきます。

増田 周子 (関西大学文学部教授)

1968年、北九州市生まれ、大阪育ち。1997年関西大学博士後期課程単位取得退学後、同年4月徳島大学専任講師を経て、2001年関西大学助教授、2008年同教授、現在に至る。博士(文学)。戦争文学研究や、関西圏文学の研究を行う。主な編著書に、「織田作之助と大阪」(2013年、関西大学大阪都市遺産センター)「大阪文藝雑誌総覧」(2013年、和泉書院)「1955年「アジア諸国会議」とその周辺—火野葦平インド紀行—」(2014年、関西大学出版部)などがある。

■お申込み

定員 50名(申込先着順)

受講料 【一般】4,500円(3回分) ※1回1,500円
【適塾記念会会員】(新規入会者を含む)
3,000円(3回分) ※1回1,000円

修了証書 全3回受講された方には、修了証書を交付いたします。

申込方法 ①下記「参加申込書」の記載事項をご記入のうえ、
FAXまたはE-mailにてお申し込みください。受付
確認後、受講決定の連絡をいたします。

(定員に達した時点で、締め切らせていただきます。)

②受講決定の連絡の後、受講料を下記の銀行口座に
お振り込みください。なお、振込手数料は、ご本人様
負担とさせていただきます。

口座名 三菱東京UFJ銀行 茨木支店 普通預金 1502217

口座名義 オオサカダイガク シャガクレンケイタウトウ
大阪大学 社学連携担当

■会場までのアクセス 大阪大学中之島センター 3階 講義室301

大阪市北区中之島4丁目3番53号
TEL 06-6444-2100
http://www.onc.osaka-u.ac.jp

【電車によるアクセス】
阪神本線「福島」駅 徒歩約9分
JR東西線「新福島」駅 徒歩約9分
JR環状線「福島」駅 徒歩約12分
京阪中之島線
「渡辺橋」駅または「中之島」駅 徒歩約5分
地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅 徒歩約10分
地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅 徒歩約16分

【バスによるアクセス】
大阪市バス 大阪駅前バスターミナルより
(53系統)
→中之島四丁目(旧玉江橋)下車 徒歩1分
(75系統)
→田衰橋 下車 徒歩2分
北港バス(中之島ループバス ぶらら)
淀屋橋(土佐堀通/住友ビル前)より
→大阪大学中之島センター前下車 徒歩1分

【第10回適塾講座 参加申込書】

以下にご記入の上、FAX → 06-6850-5015 まで送信ください。

または以下の内容を、E-mail → kinenkai@tekijuku.osaka-u.ac.jp まで送信ください。

フリガナ				
氏名	<input type="checkbox"/> 適塾記念会会員 <input type="checkbox"/> 非会員			
住所	〒			
電話番号	Eメールアドレス			
受講希望の講義に ○印をご記入ください	全3回を受講する <input type="checkbox"/>	第1講座を受講する <input type="checkbox"/>	第2講座を受講する <input type="checkbox"/>	第3講座を受講する <input type="checkbox"/>